

令和5年度 シラバス

|  |             |          |   |         |              |   |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
|--|-------------|----------|---|---------|--------------|---|-----|--------|-----|--|-------|----------|--------|-----|---|--|---|-----|---|---|--|-----|--|--|---|-----|--|---|--|
| 教科   | 地理歴史        | 科目       | 世界史B  | 単位数     | 2            | 履修学年  | 3   | 学科・コース | 普通科 |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| 教科書  | 世界史B (東京書籍) |          | 副教材等  | ニューステージ | 世界史詳覧 (浜島書店) |   | 担当者 | 尾村     |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| 1. 科目の目標   |             |          | 2. 学習の進め方や留意点   |         |              | 3. 評価の観点と函中コンピテンシー  |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>そのため、特に次のことに留意する。</p> <p>①地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。</p> <p>②諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に理解する技能を身につける。</p> <p>②概念を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>③歴史的意義、時期、推移、比較、相互関連、現在とのつながりに着目させる。</p> <p>④よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p> |             |          | <p>・世界の中の日本を意識し、関連付けるよう心掛ける。</p> <p>・歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目する力を身につけ、考察し、表現する。</p> <p>・日々の振り返りを通じて、自己の学習が効果的か否か、メタ認知する力を身につけるため、振り返りを行う。</p> <p>・ノートやプリントを使った学習を通じて、自己の学習が効果的か否か、検証しながら傾聴力を身につける。</p> <p>・協働的な学習を通じて、主体的によりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する活動を行う。そのためコミュニケーションスキルを身につける。</p> <p>・獲得した概念を通じて、歴史的な事象を考察し、また現在の社会につながる課題を歴史的に考察する。</p> |         |              | <table border="1"> <tr> <td></td> <td>知識・技能</td> <td>思考・判断・表現</td> <td>主体的な態度</td> </tr> <tr> <td>傾聴力</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>先見力</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> |     |        |     |  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的な態度 | 傾聴力 | ○ |  | ○ | 思考力 | ○ | ○ |  | 協働力 |  |  | ○ | 先見力 |  | ○ |  |
|  | 知識・技能       | 思考・判断・表現 | 主体的な態度  |         |              |   |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| 傾聴力  | ○           |          | ○   |         |              |   |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| 思考力  | ○           | ○        |   |         |              |   |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| 協働力  |             |          | ○   |         |              |   |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |
| 先見力  |             | ○        |   |         |              |   |     |        |     |  |       |          |        |     |   |  |   |     |   |   |  |     |  |  |   |     |  |   |  |

4. 学習計画と評価規準

| 月     | 単元・学習内容                           | 時間 | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-------|-----------------------------------|----|--|---|---|
| 4,5   | 近代化と民主主義<br>(第16章産業資本主義の発展と帝国主義)  | 11 | 自由主義とナショナリズムなどを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を理解する。<br>国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制と諸改革などを基に、世界市場の形成を構造的に理解する。                        | 自由の拡大と保守の抑圧とを通じて自由のあり方を考察する。<br>ナショナリズムの高まりと国民国家の形成が特にヨーロッパ各国でどのように現出したか、比較し考察する。<br>第二次産業革命に始まる経済発展が帝国主義を生み、現在に至る影響を及ぼしたことを考察し、表現する。 | 日々の学習活動を、自ら振り返ることで、効果的な学習方法を身につける。<br>【前期中間考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】<br><br>【前期期末考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】<br><br>【後期中間考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】 |
| 6,7   | ヨーロッパとアジアの比較<br>(第17章アジア諸地域の改革運動) | 11 | アジア諸国の変革を基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを理解する。<br>ヨーロッパとアジアの植民地化の様相を理解する。   | 帝国主義とは何かを多面的に考察する。ヨーロッパにとってのメリット、アジア諸国にとってのメリットを考察することで、多面的に考察し、表現する。   |   |
| 8,9   | 20世紀の世界<br>(第18章世界戦争の時代)          | 8  | 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を理解する。<br>世界恐慌とファシズムの動向、国際関係の緊張と対立を理解する。  | 大戦の展開とその影響、戦間期におけるヨーロッパ・アジア・日本を比較し、国際協調が緊張状態に向かう歴史的転換を比較し、考察し、表現する。<br>世界恐慌とファシズムの台頭など、戦争に至る経緯を考察し、現在の世界につながる諸課題を取り上げ、考察し、表現する。       |   |
| 10,11 | 現代の世界<br>(第19章戦後世界秩序の形成)          | 12 | 第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を理解する。<br>東西冷戦の成立、雪解け、社会主義国家同士の対立、第三世界、緊張緩和とベトナム戦争、冷戦の終結などを構造的に理解する。 | 戦争はなぜ発生したのか、各国の政治・経済的状况など複数の視点から原因を考察し、平和的社会に生きる国民の1人として、現代世界の課題を解決する視野を持ちつつ、考察し、表現する。  |   |
| 12,1  | 現代世界の諸課題について                      | 10 |  |   |   |